

# 節分・鬼に関するおすすめの本



おにばらいのまめまき【世界文化社】  
(文)鶴見正夫 (絵)つぼのひでお  
妹を鬼にさらわれ、取り戻しはしたが…。  
ドシンドシンと鬼がおいかけてきて…。  
行事の絵本10冊シリーズで、節分に  
読む絵本です。節分Q&Aの付録も載って  
ます。

オニじゃないよ おにぎりだよ【えほんの社】  
(作)シゲタサヤカ  
オニ達はおにぎりが大好き！  
人間が落としたおにぎりも拾って食べ  
ちゃう…。！！  
「ひどすぎる！こんなまずいの食べてる  
なんて！！  
俺達が本当のおにぎりを教えてやる！！」

せつぶんのひのおにっか【講談社】  
(作)青山友美

「鬼は外！」ということは、鬼は家にいるの？  
普段は家の中で暮らしている鬼たちが、節分の日だけ  
福の神のために家をあけてあげるお話。寒空の下、  
屋根の上で一晩過ごす鬼たちが健気です。

狂言えほん せつぶん【講談社】

(文)もとしいづみ (絵)野村たかあき  
節分の夜。日本に渡った鬼は民家を訪ね、そこにいた美しい女に  
惚れて、言い寄ろうとします。最初は怖がっていた女ですが、鬼が  
本当に自分を好きだと知ると……。  
女にデレデレの鬼に笑えます！高学年OK！

それからのおにがしま【岩崎書店】

(さく)川崎洋 (え)国松エリカ  
こちらは「桃太郎」の後日談です。  
鬼退治のあとの鬼が島では、やがて  
鬼たちと人間たちとの交流が始まり、  
平和がやってきます。  
最後の「桃太郎じいさん」の様子に  
大人も笑えます！！



ももの里【リブリオ出版】

(文・絵)毛利まさみち  
桃太郎はどうして桃から生まれたの？  
鬼退治に行くのはなぜ？ そもそも桃は  
どこから流れて来たの？ それはね、  
川上の村が鬼に襲われたからなんだ  
よ…。